

# 自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園  
下田中学校便り第7号  
令和4年11月10日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラー  
でご覧いただけます。→



## 秀嶺祭 合唱コンクール ～ 中学校教員の喜び ～

私が中学校の教員を辞めたくない理由のひとつは、合唱コンクールで中学生の歌声を聞き続けたいからです。特に3年生の合唱というものは、1年前・2年前の合唱と比べるとかなり熟していて、毎年心が震えます。今年度の3年生も素晴らしかった。教員を辞めない決意がまた強くなりました。



3学年合唱

もちろん1、2年生の合唱も見事な出来栄でした。来年、再来年の歌声が楽しみです。



1学年合唱



2学年合唱

保護者の皆様、御来場ありがとうございました。

また、会場の観客入れ替えの御協力に感謝します。

来年度は観客の入れ替えをすることなく、全学年の合唱をお聞かせできることを願っています。

# 考え方が 180 度変わった出来事



「不要なのでは?」と思っていたことが「絶対に必要」に変わった出来事をご紹介します。

先日、ただの郷学園学校保健委員会講演会が飯田小学校を会場にありました。平日 19 時開始ということで、参加できなかった保護者や地域の方もいらっしやったことと思います。教職員も合わせた参加者約 70 名が「情報社会を生きる子供たちに必要な力とは」と題した講演を聞きました。講師の大久保真紀様（長岡市教育委員）による約 1 時間の話の中で、私の心を動かしたセリフです。



スマホの情報から得る価値は低い。なぜなら、それらはいつでも、誰でも、どこでも得られるものだから。一方、スマホから目を離し、目の前にいる人と時間を共有することは、今、自分が、ここでしかできない体験である。

この言葉の直後に私の “講演会” に対する考え方が変わりました。次の通りです。

手元にあるスマホ等の端末を使うことで情報が容易に手に入る現代では、講演会に行かずとも同様のテーマの話は聞ける。だから講演会にわざわざ参加する人が少ないのは当然であり、講演会の開催は一昔前のイベントである。



今自分は、この会場の空気を感じながら講演を聞いている。講演者からの質問は自分に向けられたものと感じ、その答えを真剣に考えている。たまたま隣に座った参加者の一人との会話中、相手が発した情報は自分だけのものである。自分は今、貴重な時間の中にいる。

スマホが手元にある時代だからこそ、スマホ以外での体験・時間を大切にしたいと感じました。“講演会”には時間をつくって足を運びたいと思います。



県内各地で講演をされている大久保真紀様のお話は評判通り分かりやすく、すぐに家庭に適用できるヒントがたくさんあり、一人でも多くの方に聞いてほしいと強く思ったところです。YouTube でもいくつか見られるそうですが、今後どこかで講演会が開催される情報があればぜひ会場でお話を聞いてはいかがでしょうか。

## 保護者の皆様 ありがとうございます

夏休み前に配付した SNS に関する文書を、保護者の皆様に御理解いただき御協力いただいていることで、トラブルの報告は大幅に減っています。ありがとうございます。引き続き、ただの郷学園の子供達を SNS の加害者にも被害者にもさせないことを目指していきましょう。